



伝統作物を栽培して地域の活性化を図る！

「こいねみさくぼ」は地域の伝統作物を活かして地域の活性化に取り組むNPO団体です。耕作放棄地等を活用して粟などの雑穀やじゃがた（水窪で伝統的に栽培されているじゃがいも）を栽培したり収穫イベントを開催したりなど精力的に活動を行っています。

収穫した作物は、7月のじゃがた祭や11月のみさくぼ夢街道などの地域のイベントに出店して販売もしています。

「こいね」は水窪弁で「来てね」という意味の言葉です。その名のとおり、イベント等を通して地域の魅力を発信し関係人口の増加に貢献しながら、地域の伝統作物を次の世代につなげています。



企業と協力した活動を展開！

こいねみさくぼでは有限会社春華堂と協力した活動に取り組んでいます。具体的には、こいねみさくぼが栽培した雑穀を用いて、春華堂でお菓子の開発・販売を行っています。

この活動は、都市と農村の協働活動による地域の活性化を目的とした静岡県の「一社一村しずおか運動」の認定を受けており、平成28年には認定式が行われました。

平成30年には、水窪町の家老平にて「五穀ファーム&ダイニング」を開催し、青空の下、雑穀等を用いた料理がふるまわれました。

その後も、春華堂の社員が水窪で農作業支援を行ったりなど、都市部と農村をつなぐ活動が続いています。

